

とうかい

水土里フォーラムかわら版

～農業・農村耳より情報～



第48号

2009. 4月



Contents

- 農地・水・環境保全対策・・・駒場農・水・環（愛知県豊田市）
- 21世紀土地改良区創造運動・・・水土里ネットかがわ（三重県桑名市）
- 国営事業紹介・・・西濃用水第二期地区
- 農村むかし話・・・山の神とオコゼ（三重県尾鷲市）
- 農政だより・・・「ため池百選」を選定します

▲刈谷市井ヶ谷町小堤西池のカキツバタ群落。毎年5月中・下旬が見頃となります。

●小堤西池のカキツバタ群落（愛知県刈谷市）

小堤西池は、この地方に多くあった湿原、池沼帯の名残で、江戸時代以前から現在まで水田灌漑用のため池として使用されています。カキツバタを始め湿地固有の植物100余種が自生しており、学問的にも貴重な湿原となっています。

昭和13年に国の天然記念物の指定を受けましたが、昭和30年代まで放置され雑草が繁茂したため、昭和36年頃から地元の人々の努力で雑草の除去を進め、再びみごとなカキツバタ群落が復活しました。

毎年5月上旬から咲きははじめ、下旬まで天然のカキツバタを目当てに多くの人々が鑑賞に訪れます。

当地区は東海農政局「東海美の里百選」に選ばれております。



〈アクセス図〉

豊田市で農地・水・環境保全の活動に取り組む活動組織は44組織あり、「駒場農・水・環」は、豊田市駒場集落一円を活動地域として取り組んでいます。

主な活動は、開水路やパイプラインなどの農業施設の長寿命化を図るため、定期的の実施しているきめ細やかな見回りや清掃活動です。特に、農道の補修技術を習得するため、土木技術者を講師に招いて研修を実施しています。この結果、亀裂の状況に応じた最適な補修ができるようになりました。

このほか、学校教育と連携して次代を担う“こまばっ子”に稲作体験授業を実施しています。米づくりを通して、食料自給率の向上や食の大切さを知ってくれればと願っています。

また、毎月発行している「駒場農水環だより」は、活動内容を紹介するとともに意識の高揚に貢献しています。これからも地域ぐるみで駒場集落の資源・環境を守る活動を続けていきたいと考えています。



水路補修の様子



農道(亀裂)補修の様子



稲作体験の様子

21世紀土地改良区創造運動

水土里ネットかがわ ～三重県桑名市～

くわなし

三重県桑名市を流れる嘉例川(かがわ)沿いに水田が広がる本地区は、その背後に山林を要した、緑豊かな地域です。隣接する山林からは湧き水が出て、潤いをもたらし、水生動植物が多く生息しています。

本地域では、市の天然記念物であるヒメタイコウチ、絶滅危惧種に属するホトケドジョウなどの希少生物が生息しており、ほ場を整備するに当たっては、水田脇ピオトープ、多自然型空石積水路、移植池など生息環境を整備し、生態系保全区域を確保しました。

これらの生息環境の維持管理等は、当初は「ヒメタイコウチ・ホトケドジョウ保存会」が中心となっていましたが、「水土里ネットかがわ」が積極的に加わり、今では中心となって地域の適正な監視・乱獲防止策等を構築し、希少生物の保全に努めるようになりました。

そして、地元自治会、市、県などと連携を図り、さらには地域の多様な生態系及びその保全の学習会(観察会)などの普及啓発を通じて、環境教育・学習の場を提供し、地域住民との交流・協働・共生を目指しています。

21世紀土地改良区創造運動Q&A

Q. 21世紀土地改良区創造運動とは？

A. 水土里ネット(土地改良区)が果たしてきた役割、機能を改めて見直すとともに、農業・農村の持つ多面的な機能の確保など、国民が期待する新たな役割に対しどのように取り組んで行くべきか、地域の人たちとみんなを考え、実践していこうとするものです。



ヒメタイコウチシンポジウムでの現地観察会の様子



田んぼの生きもの観察会の様子



良好な農村景観の形成を目的に播種した“れんげ”(H19)

国営事業紹介

西濃用水第二期地区 ～持続可能な水のふるさとを目指して～

本地区は今年度事業所開所に向け、準備を進めています。

本地区は、岐阜県の南西部に位置し、北西に伊吹山、南西に養老山地の山並みを望む、揖斐川沿いに広がる水田地帯であり、稲作を中心に小麦、大豆、飼肥料作物などを組み合わせた営農を展開する県内有数の農業地帯です。

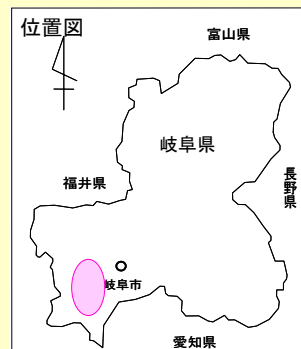
本地区の基幹的な水利施設は、昭和43年度から昭和58年度に「国営西濃用水土地改良事業」により整備され、農業用水の安定的な供給が図られてきましたが、近年、施設の老朽化により、農業用水の安定的な供給に支障が生じるとともに、維持管理に多大な労力と経費を要しています。

このため本事業において、これら施設の改修を行い、農業用水の安定的な供給と施設の維持管理を軽減することにより、農業生産及び農業経営の安定を図ります。

昭和43年度から昭和58年度に整備された岡島頭首工、幹線用水路の一部区間及び水管理施設の老朽化により、農業用水の安定的な供給に支障が生じており、早急な改修が必要です。



揖斐川より農業用水を取水する施設、岡島頭首工



岡島頭首工

●工事計画

施設名	区分	数量	内容
岡島頭首工	改修	一式	堤体改修、取水施設改修、附帯施設改修
用水路 (西部幹線) (揖西幹線) (揖東幹線)	改修	4.0km	コンクリート開水路、暗渠及び管水路の改修
水管理施設	改修	一式	遠方監視制御、親局・子局の更新

(お問い合わせ先)

東海農政局 農村計画部事業計画課・整備部水利整備課 TEL 052-201-7271
東海農政局 木曾川水系土地改良調査管理事務所 TEL 052-871-4420

農村むかし話

山の神とオコゼ ～三重県尾鷲市～

その昔、尾鷲市の矢浜(やはま)の東に、青い松の生い茂った砂の白い国市の浜(くにしのはま)があり、海の神が時々手下の魚たちをつれて散歩を楽しんでいたそう。また、矢浜は田畑の多い村で、地区にはそれぞれ田の神がいて田畑を守っておったということじゃ。田の神は、11月の稲の収穫が済むと山へ帰って行って山の神になったそう。

ある時、海の神と山の神とが、矢浜村でばったりと会い、お互いに手下の自慢話になった。最後には手下が何種類いるかという争いになり、海の神は、タイ、ヒラメ、アジ等と呼ばせ、山の神はキツネ、タヌキ、クマなどの手下をかり集めたそう。

お互いに種類の数を確認したところ全くの同数で、この勝負あわや引き分けになろうとしたとき、海からオコゼが一匹はい上がってきたそう。勝負は海の神の勝ちとなり、それ以来、山の神はオコゼを恨むようになったということじゃ。

そこで、矢浜の山の神のお祭に、当人(とうにん：当番の人)がオコゼを一匹懐に入れて参列し、袖口からオコゼの頭をちらりと見せて「ちょっと山の神にオコゼをお見せ申す」と言うと、当人を始め氏子一同がアハハと大笑いしたそう。この大笑いには、オコゼの姿があまりにも醜いので、「あれは魚の仲間に入りませんよ。だからあの勝負は引き分けですよ。」と山の神を慰める意味が込められていたそう。

山の神は、氏子達がオコゼを笑いとばしたことで恨みをなくし、また春になると山から里へ下りてきて田の神として田畑を守ってくれたということじゃ。



(情報提供:尾鷲市) (資料提供:三重県観光連盟)

みなさんの地域には、新田開発や用水不足の解消を目的として、古代から近代にわたる長い歴史の中で築造され、現在に至っても貴重な水源として農業の礎の役割を果たしている、そんな農業用ため池はありませんか？

また、身近な水辺の風景として親しまれ、多様な生物が生育・生息し、人々に安らぎや潤いを与え、地域活性化の核としての保全・活用の可能性を持つ、ため池の大切さを見つめ直してみませんか？

農林水産省では、地域にとっての資源であるため池が、地域活性化の核として保全・活用される取り組みの機運を醸成するとともに、ため池の有する多様な役割と保全の必要性について国民の皆様の理解と協力を求めていく契機とするため、「ため池百選」を選定することとしました。

選定の対象とするのは、「現に農業用の水源としてため池の貯留水が利用され、継続的に農業が営まれている」ため池で、ダムと呼ばれているものや自然の湖沼を除いたものです。

ため池堤体等の適切な維持管理がなされていることを前提とした上で、地域農業の発展の重要な礎となっているもの、あるいは農業以外の多面的な機能に関して特徴ある役割を担っているものをイメージしています。



選定対象のため池のイメージ(例:親子ため池)



選定対象のため池のイメージ(例:一連の複数のため池)

この「ため池百選」の募集開始は平成21年4月下旬を予定しております。

また、応募のあったため池の中からインターネット等での一般投票により、「ため池百選」を選定します。

募集方法・募集期間・投票参加方法など、詳しくは、農林水産省のHPにてお知らせいたします。

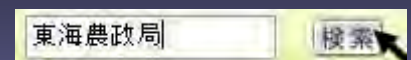
お知らせ

広報誌「とうかい水土里フォーラムかわら版」は、この号をもちまして発行及び配布を終了します。

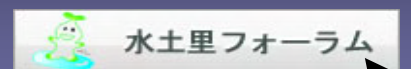
長らくのご愛読、ありがとうございました。

なお、今後これらの水土里に関する情報は、東海農政局のホームページにて発信していく予定です。

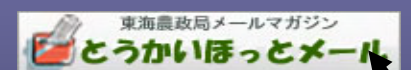
また、農政に関するタイムリーな情報やメッセージ・イベント情報などは東海農政局メールマガジンでお知らせします。ぜひ登録の上、ご利用下さい。



東海農政局HP検索



水土里に関する情報は
東海農政局HPのこちらをクリック



メールマガジンの登録は
東海農政局HPのこちらをクリック